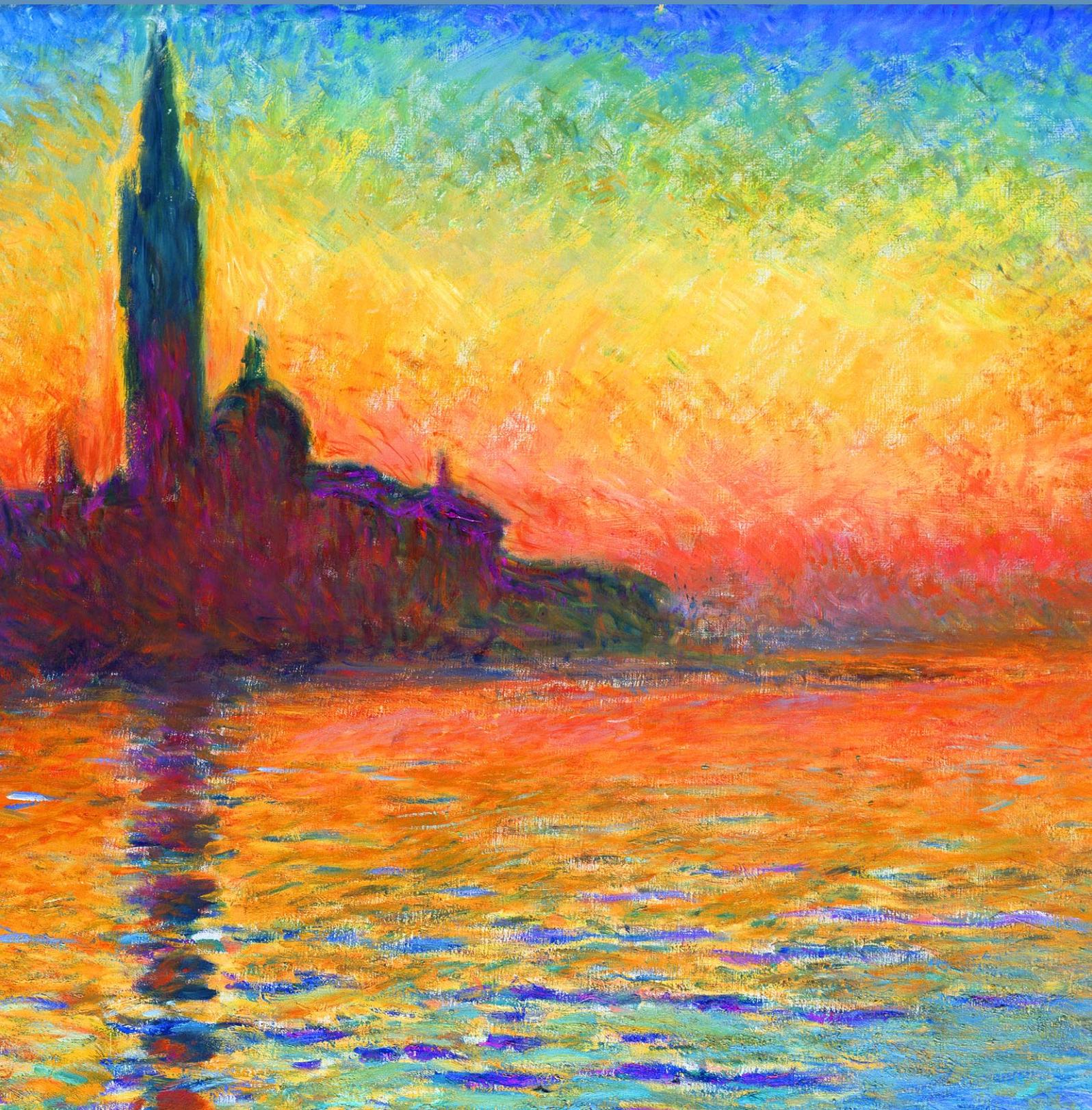


contents

- 〈展覧会紹介〉ターナーからモネへ
- 〈イベント報告〉スタジオジブリ・レイアウト展
- 次回展覧会のお知らせ
- 美術館喫茶室ニホ スペシャルメニューのお知らせ
- お知らせ

[2~3]
[4~7]
[8]

表紙：クロード・モネ《サン・ジオルジョ・マッジョーレ、黄昏》(部分) 1908年 ウェールズ国立美術館蔵©National Museum of Wales



開館40周年記念 後期特別企画展
ウェールズ国立美術館所蔵

ターナーから モネへ

4/7(土) ▶ 5/27(日) (休館日 4月23日(月)、5月7日(月))

【観覧料】一般 1,400円(団体1,200円)・高校生 800円(団体600円)
小・中生 500円(団体400円)

※団体は20名以上。※障害者および介護者1名は半額。※未就学児は無料。

【会場】福井県立美術館(福井市文京3-16-1)

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は閉館30分前まで)※4月7日(土)は午前11時から

【主催】ターナーからモネへ実行委員会(福井県立美術館、福井新聞社、FBC福井放送)

【後援】ブリティッシュ・カウンシル 【企画協力】ホワイトインターナショナル

展覧会の
見どころ

- ◎ウェールズ国立美術館コレクションがまとめて紹介されるのは約30年ぶり!
- ◎19～20世紀における英仏美術の展開を、両国の巨匠たちの作品を通じて紹介!
- ◎総出品数73点!油彩以外に画家の筆使いをダイレクトに伝える貴重な水彩も!
- ◎モネ作品3点とターナー作品の来福は初!
- ◎福井は巡回の最終開催地。どうぞお見逃しなく!

英国・ウェールズ国立美術館コレクション30年ぶりの来日!
あのフランス印象派は、イギリスの影響で生まれた?

名画がつむぐ“知られざる物語”

印象派の誕生前夜、モネは、普仏戦争を避けるため滞在したロンドンで、ターナーの作品にふれ、深い感銘を受けました。

またイギリスの若い画家たちは、フランスの印象派に影響を受け、自国の美術に新風を吹き込みました。

本展は、モネとターナーの出会いに象徴される、百年間にわたる英仏両国の美術の変遷と交流をたどります。

イギリスとフランス、両国巨匠たちによる“豊麗なる美の対話”をお楽しみください。

第1章 ロマン主義



ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー 《難破後の朝》1840頃

ロマン主義は19世紀初頭にヨーロッパで興った芸術運動で、18世紀に隆盛した新古典主義への反動として、理知よりも感情、客観よりも主観、形式よりも内容、普遍よりも個性をその拠り所とし、それまでの価値体系を根本的に変えました。

いち早くロマン主義的傾向が芽生えたイギリスでは、特に風景画においてその傾向が顕著であり、本展で紹介するターナーやコンスタブルはその代表作家として知られています。フランスでは主に歴史画のジャンルにロマン主義的傾向が窺えますが、その後カラーをはじめとするバルビゾン派へとその精神は受け継がれていきました。

近代市民社会の成立と発展を背景に、19世紀中ごろのフランスを中心にリアリズム(写実主義)の絵画が登場しました。アカデミズムが掲げた理想主義と相反する運動であり、単なる写実的な絵画傾向ではなく、同時代の生活や事物を理想化せずに「ありのまま」を描こうとしました。リアリズムの画家として1850年前後にオノレ・ドーミエ、ジャン＝フランソワ・ミレー、ギュスターブ・クールベらが登場し、なかでもクールベはリアリズムの旗手として、印象派をはじめ、次世代の画家に大きな影響を与えています。



ジャン＝フランソワ・ミレー 《突風》1871～73年

第2章 リアリズム



オノレ・ドーミエ 《重荷》1850～60年

第3章

パリのサロンとロンドンのアカデミー



ダンテ・ゲイブリエル・ロッセティ
《麗しのロザムンド》1861年



ジェームズ・ティン 《別離》1872年

フランスでは17世紀半ばに美術行政・教育を統制するアカデミーが創られ、官立の展覧会「サロン」の開催など、画家たちに大きな影響を与えていました。他国でもフランスの例に倣ったアカデミーが設立され、イギリスの「ロイヤル・アカデミー」もその一例です。美術の制度化が進む一方で、1863年にパリで開催された「落選展」に象徴されるように、19世紀後半に入ると歴史画に重きを置く伝統墨守の傾向、あるいはサロンに代表される硬質化したアカデミー制度への疑問が表面化し、革新的な画家たちによって独自の展覧会が組織されていきます。

イギリスでもロッセティ等らにより、ラファエロ以前の芸術、すなわち盛期ルネサンス以前に美の規範を求める「ラファエル前派」の運動が展開されました。以降、イギリス美術は耽美主義的絵画やホイッスラーの色彩的調和を重んじた都市風景画などその表現範囲を拡張し、多様な展開を見せていくようになります。

第4章

印象派



クロード・モネ 《パレット・ダリオ》1908年



ピエール＝オーギュスト・ルノワール 《会話》1912年

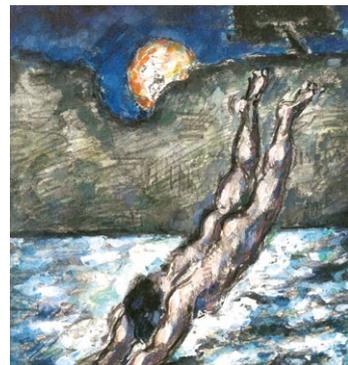
フランスの官展「サロン」の因襲的な体質に反発したモネやピサロ、シスレーらは、自ら発表の場を求め、1874年、パリのナダール写真館でのちに「第1回印象派展」として知られるグループ展を開催しました。彼らはアトリエを飛び出して戸外制作を行い、移ろいゆく光や大気の一瞬を描くことを目指しました。その試行錯誤のなかで、絵具を混ぜず、細かいタッチを重ねて画面を構成する「筆触分割」という新しい手法を確立しています。

印象派誕生前夜、モネやピサロは普仏戦争を避けるために滞在したロンドンで、ターナーやコンスタブルの作品に接し、深い感銘を受けています。印象派が取り組んだ霧や雲など大気への眼差しには、ターナーをはじめ、イギリスの画家が追求した風景表現への共感に満ちています。

1880年代後半から90年代にかけて、古典主義的傾向や、科学的な色彩理論の応用、人間の内面を重視した象徴主義的な作品など、印象派の感覚主義を乗り越えて多様な展開を見せるようになります。このような新しい動向は「ポスト印象派」と総称され、20世紀絵画の源流として現代まで大きな影響を与え続けています。ウェールズにもこうした新たな刺激を受けて、オーガスタス・ジョンやジェームスディクソン・イニスなど、フランスの最新の動向をとり入れた作品を描いています。

第5章

ポスト印象派とその後



ポール・セザンヌ 《飛び込む人》1866~70年

「ウェールズ」ってどんなところ？

ウェールズはロンドンの西方およそ200kmに位置し、電車で3時間半位の道のりです。ウェールズといえばスノードン山をはじめ山岳地帯が連なり、また風光明媚な海岸が広がるなど美しい自然がその魅力の一つとして知られ、古くから多くの芸術家が訪れています。またアーサー王の伝説をはじめ豊かな歴史を持ち、さらに19世紀以降は急激な経済成長を遂げ世界的な産業拠点となりました。その他ウェールズはラグビーの強豪国として広く知られ、日本ではスタジオリの「天空の城ラピュタ」のモデルになった場所としても有名です。



《イベント報告》

高畑・宮崎アニメの秘密がわかる。

スタジオジブリ・レイアウト展

2017
12.8金 ▶ 2018
3.11日

主催◎スタジオジブリ・レイアウト展実行委員会
(福井県立美術館、FBC福井放送)

福井県立美術館では、FBC福井放送と実行委員会を組織し、2017年12月8日(金)から2018年3月11日(日)までの会期中、「スタジオジブリ・レイアウト展」を開催しました。

高畑勲・宮崎駿両監督が築き上げてきた世界を代表するアニメーション制作会社・スタジオジブリ。この展覧会では、「風の谷のナウシカ」(1984年)、「もののけ姫」(1997年)、アカデミー賞受賞作の「千と千尋の神隠し」(2001年)、ジブリ以前に手掛けた「アルプスの少女ハイジ」(1974年)、「未来少年コナン」(1978年)など約1400点のレイアウトを公開しました。

「レイアウト」は、1枚の紙にキャラクターや背景、カメラの動きなど場面のすべての要素を詰め込んだ、いわば「映画の設計図」。作品の統一感を保つ上で重要な役割を果たし、そこにはキャラクターの疾走感や躍動感、映画的な空間構成までもが表現され、作り手たちのイマジネーションにあふれています。

アニメーションの魅力が詰まった「レイアウト」を読み解きながら、スタジオジブリ作品の秘密に迫りました!

このようなスタジオジブリの世界を体感するため、県内外から連日、大勢の美術ファンが来館。2018年2月10日(土)からは立体作品「湯屋」を特別公開したこともあり、37年ぶりの豪雪等があったにもかかわらず、最終的な入館者数は、当館の歴代2位となる7万人超に達しました。このため、駐車場からのシャトルバスの運行や開館時間の延長等を行いました。

会期中は、連日、「担当学芸員による『見どころ解説会』」が実施され、『見どころ解説ガイド』を配布。解説を熱心に聞く方が多いため、質問コーナーを設置し、土・日曜日等は複数回開催する日をつくりました。また、映画「もののけ姫」、「千と千尋の神隠し」、「崖の上のポニョ」、「魔女の宅急便」、「かぐや姫の物語」の上映会、若狭図書学習センターでの「講演会『担当学芸員によるスタジオジブリ・レイアウト展の楽しみ方』」、「井上直久氏の講演会『ジブリの背景を描いてみる』」、「柘瑠美さんの『ミニトーク』『カオナシとの撮影会』『サイン会』『1日館長』」、「美術館学芸員トークサロン『展覧会ができるまで』」、「田中千義氏、西岡純一氏による座談会『スタジオジブリスタッフ夢の競演、ここでしか聞けないスタジオジブリ作品の秘密が分かる!』」が開催されるとともに、「学校鑑賞会」、「カオナシと撮影会」等多くの関連イベントが実施されました。

広報では、当館独自の対応として、福井市の映画館メトロ劇場での「見どころ解説会」(2018年2月25日(日))の実施やPR、音楽会の実施、鉄道駅や大型書店、店舗でのチラシの配架等を行いました。また、テレビ、ラジオでは、本展の特集番組やニュース、スポットCMが数多く放映されるとともに、新聞では特集記事等が掲載されました。

これらの対応を実施したことから、入館者へのアンケートでは、多数の方が「大いに満足・満足」とされ、複数回来館された方もありました。

当館としては、この展覧会に御来場、御協力いただいた皆様に対して、この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。





体験型コーナー

“まっくらくろすげ”コーナー・トトロケーション



ポニョロケーション



撮影コーナー



《関連イベント》

◎担当学芸員による「見どころ解説会」

[日 時] 平成29年12月9日(土)～平成30年3月11日(日)
午前10時30分～、午後2時～、他、計76回実施
[会 場] 美術館講堂
[講 師] 西村直樹(学芸員)



毎回約30分間にわたって行われた「見どころ解説会」。この日はカオナシが応援にきてくれました。



◎映画上映会

[演目・日時・会場]

「もののけ姫」

(平成29年12月24日午前10時～、午後2時～、美術館講堂)

「千と千尋の神隠し」

(平成30年2月10日午前11時～、2月11日午前9時50分～、午後0時20分～、午後2時50分～、美術館講堂)

「崖の上のポニョ」

(平成30年2月12日午前9時50分～、午後0時20分～、午後2時50分～、美術館講堂)

「魔女の宅急便」

(平成30年2月25日午前10時～、午後0時～、午後2時～、美術館講堂)

「かぐや姫の物語」

(平成30年3月3日午前10時～、3月4日午前10時～、美術館講堂)



◎講演会「担当学芸員によるスタジオジブリ・レイアウト展の楽しみ方」

[日 時] 平成30年1月7日(日)
午後1時30分～3時10分頃
[会 場] 福井県立若狭図書学習センター
[講 師] 西村直樹(学芸員)

聞いてから見るか? 見てから聞くか? をテーマに、展覧会の楽しみ方、見どころ、裏話を話しました。



◎井上直久氏の講演会「ジブリの背景を描いてみて」

[日 時] 平成30年1月20日(土) 午後2時～3時30分頃
[会 場] 美術館講堂
[講 師] 井上直久氏



宮崎駿さんとの出会いやジブリでの制作秘話等を話していただきました。

◀井上直久氏



◎柊瑠美さんの「ミニトーク」「カオナシとの撮影会」

「サイン会」「1日館長」

[講 師] 柊 瑠美さん

(人気女優、「千と千尋の神隠し」の主人公、千尋の声役)

[演目・日時・会場]

「柊瑠美さん、FBCアナウンサーの

『千と千尋の神隠し』上映会の前ミニトーク」

(平成30年2月10日(土)午前11時～、2月11日(日)午後0時10分～、美術館講堂)

「柊瑠美さん&カオナシとの『撮影会』」

(平成30年2月10日(土)午後1時30分～、午後3時30分～、2月11日(日)午前11時～、美術館第2展示室)

「柊瑠美さん『サイン会』」

(平成30年2月10日(土)午後4時～、美術館第2展示室)

「柊瑠美さん『一日館長のご挨拶』」

(平成30年2月11日(日)午前10時～、美術館エントランスロビー)

柊瑠美さんの魅力に観客一同魅了されっぱなしでした。



撮影コーナーでの柊瑠美さん



柊瑠美さんの「ミニトーク」



柊瑠美さん「一日館長のご挨拶」



柊瑠美さん&カオナシとの「撮影会」

◎美術館学芸員トークサロン「展覧会ができるまで」

[日 時] 平成30年2月17日(土) 午後5時～6時20分頃
[会 場] 美術館喫茶室ニホ
[講 師] 西村直樹(学芸員)



展覧会をつくりあげるプロセスと裏話を語りつくしました。



●田中千義氏、西岡純一氏による座談会

「スタジオジブリスタッフ夢の競演、ここでしか聞けないスタジオジブリ作品の秘密が分かる！」

[日 時] 平成30年2月24日(土) 午後2時～3時40分頃

[会 場] 美術館講堂

[講 師] 田中千義氏(スタジオジブリ 会長室イベントプロデューサー)、
西岡純一氏(スタジオジブリ 広報部・部長)

スタジオジブリ作品の秘密!?等をたっぷり話していただきました。▶



左：田中千義氏 右：西岡純一氏



●音楽会

JAL BELL STARの8名の皆さんが、ジブリの美しい楽曲の数々を奏でてくださいました。
JAL BELL STARの皆さん▶

音楽会



タイトル	日 時	出演者・講師・協力者	会 場
JAL音楽会	平成29年12月9日(土) 14:50～15:30	JAL BELL STAR(ハンドベル演奏)	
開館40周年記念 スタジオジブリ・レイアウト展開催記念 「スタジオジブリ音楽会」 ージブリの音楽にみんなが参加して、 もっと展覧会を楽しもうー	平成29年12月16日(土) 13:00～	福井バロックノーツ(バイオリン、ハーブ、リコーダー等演奏)	美術館展示室
	平成29年12月16日(土) 13:45～	藤島高校弦学部	
	平成29年12月23日(土) 13:00～	香隆音彩【シャンロンインツァイ】(二胡演奏 木谷&玉木)	
	平成29年12月23日(土) 14:30～	つぼみ奏(ギター演奏)	
	平成29年12月30日(土) 13:00～	タニロッソ【谷口浩和】(トランペット演奏)	
	平成29年12月30日(土) 14:30～	山根純子(ウクレレ演奏)	
	平成30年1月6日(土) 13:00～	オカリナサークル てんとうむし	
	平成30年1月6日(土) 15:15～	日下瑠子&山本ちひろ(サクソフォーン&電子ピアノ)	
	平成30年1月13日(土) 15:15～	代田雅揮(オカリナ演奏)	
	平成30年1月27日(土) 13:00～	福井ウクレレクラスタ楽音	
	平成30年1月27日(土) 13:45～	風笛(オカリナ演奏)	
	平成30年1月27日(土) 14:30～	Fukui笛Café(フルートアンサンブル)	
	平成30年2月3日(土) 13:00～	マンドリンアンサンブル かのん	
	平成30年2月3日(土) 13:45～	陽だまり(オカリナ演奏)	
	平成30年2月3日(土) 14:30～	藤島高校 ジャグリング部	
	平成30年2月3日(土) 15:15～	三村正俊(サクソフォーン演奏)	
平成30年2月10日(土) 13:10～	森幹男【福井大学口笛サークル「ハッピーバード」】(口笛+ギター演奏)		
平成30年2月17日(土) 14:30～	大西泰敬(ウインドシンセサイザー)		
〃 ～ひなまつりスペシャルバージョン～	平成30年3月3日(土) 13:30～	Nスタ&Fukuiバロックノーツ (リコーダーアンサンブル・フルート・バイオリン・ピアノ等)	
開館40周年記念スタジオジブリ・レイアウト展開催記念 「スタジオジブリ音楽会」 ージブリの音楽にみんなが参加して、 もっと展覧会を楽しもうー	平成30年3月4日(日) 11:00～	オカリナとヘルマンハーブY&M(オカリナ演奏)	
	平成30年3月4日(日) 13:00～	道場了鳳(尺八)	
	平成30年3月4日(日) 14:00～	鯖江オカリナハーモニー	
	平成30年3月4日(日) 15:00～	ふくいコカリナアンサンブル	

恋する美術館

タイトル	日 時	協力者	会 場
開館40周年記念 スタジオジブリ・レイアウト展開催記念 恋人同士、夫婦、家族のための アートな恋の瞬間～恋する美術館～	恋する光のオブジェ	平成30年2月3日(土)～2月14日(水)	美術館 エントランスロビー・ スタジオジブリ・ レイアウト展 大パネルの前
	恋する写真館	平成30年2月3日(土)～2月18日(日)	
	鬼する写真を撮ろう	平成30年2月3日(土) 節分	
	一粒の甘いおもてなし～カオナシからほんの一粒の告白～	平成30年2月14日(水)	

平成30年度

実技講座受講生の募集

福井県立美術館では「日本画」「洋画」「素描(デッサン)・水彩画」の基礎講座(6～7月・10回)と、同内容の専門講座(9～11月・25回)の受講生を募集します。

※詳しくは美術館ホームページ、または館内設置の募集要項をご覧ください。

◎定員

- 日本画(基礎講座・専門講座)／定員15名
- 洋画(基礎講座・専門講座)／定員15名
- 素描(デッサン)・水彩画(基礎講座・専門講座)／30名

◎募集期間

- 基礎講座 3月20日(火)～4月30日(月)まで
- 専門講座 7月1日(日)～8月10日(金)まで

平成30年度

福井県立美術館 友の会
会員募集のお知らせ

【お問合せ】

事務局まで (TEL.0776-25-0452)

年会費	一般会員 2,000円／家族会員 4,000円／特別会員 10,000円
特典	① 所蔵品によるテーマ展・テーマ展は何度でも入場無料 ② 展覧会無料入場券の配布(一般1枚、家族3枚、特別8枚+図録1冊贈呈) ③ 友の会ニュース(随時)、美術館だより(4回程度) ④ 福井県立美術館のミュージアムグッズが2割引 ⑤ 友の会実技講座・見学会(年2回)への参加(※実費負担)
募集日	4月1日(日)以降、随時お申し込みいただけます。

次回展覧会のお知らせ

最高峰の現代日本画が集結する公募展「院展」を福井で！ 「再興第102回院展・福井展」

院展(日本美術院展覧会)は、公益財団法人日本美術院の主催による日本画の公募展です。明治31年(1898)、東京美術学校長を辞した本県ゆかりの美術指導者・岡倉天心(1863～1913)と、日本画家の橋本雅邦、横山大観、菱田春草、下村観山らにより、日本美術の研究を目的として日本美術院が創設、天心没後はその遺志を継いだ大観、観山らを中心に大正3年(1914)に再興されました。そして同年に開催された展覧会を第1回再興院展とし、以来100年以上の長きにわたり日本画壇を牽引、日本画の発展に寄与してきました。

その作品発表の場が院展で、大作が中心の秋に開催される本展と、小品を中心とする春季展(春の院展)が毎年開催されています。当館で4年ぶりの開催となる福井展では、昨年(平成29年)の本展出品作が展示されます。日本美術院の正会員である同人の新作を中心に、招待作や日本美術院賞などの受賞作、そして一般からの入選作など、厳選した91点を紹介します。院展は同人から一般の応募者までの競い合いと、作品の多様性が見どころの一つです。現代日本画の競演をぜひご覧ください。

会期：平成30年 6月8日(金)～24日(日) ※会期中無休

時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※ただし6月8日(金)は午前11時開館

主催：福井県立美術館、日本美術院



手塚雄二(同人)「新緑の沼」



《関連情報》

「第73回春の院展」

会期：平成30年 5月18日(金)～27日(月)

会場：西武福井店(福井市中央1-8-1 TEL.0776-27-0111)

▲國司華子(同人)「備忘録」 文部科学大臣賞



絵・文 ささきみほ

お知らせ

2018年
4月～5月の
休館日について

展示替え、館内メンテナンス等のため、下記期間は休館とさせていただきます。

4月1日(日)～6日(金)、23日(月)、
5月7日(月)、28日(月)～31日(木)



美術館
喫茶室

ウェールズ国立美術館所蔵「ターナーからモネへ」展スペシャルメニュー

「ウェールズ風スパイスケーキと ミルクティーの英国セット」



シナモン、ナツメグなどのスパイス香るケーキに、相性ぴったりのミルクティーがセットになった展覧会限定のスイーツです。

Contact

美術館喫茶室 二ホ

[open] 9:00～19:00

[closed] 月曜日 ※4/30は営業

tel: 0776-43-0310 *無料Wi-fi*

address:

〒910-0017 福井市文京3丁目16-1
福井県立美術館 正面左手

*美術館が休館でも、
月曜日以外は営業しております。